

精華町つながりサポート事業【精華町】

個別事業費	1,697 千円
交付金額	806 千円

地域の実情と課題

本町の女性就業率は全国や京都府より低く、20代～30代での正規雇用者の女性割合は多いが40代以降は非正規雇用者の割合が多くなっている。また、生活困窮家庭の割合が多いひとり親家庭においては、自ら困難を訴えづらいことを鑑み、早期発見・早期支援に努め、社会的孤立に陥ることのないよう相談事業の充実を図り対策に取り組む必要がある。

目的・目標

様々な課題・困難を抱える女性・母子に対し、行政だけでは手が届きにくい支援をNPO法人等の団体の知見や能力を活用しながら効果的に進め、必要に応じ関係機関等の相談窓口等につなげ、問題を抱える女性の不安や悩みの解消を図る。また、相談支援につながった女性がエンパワメントされ、再スタートできるような居場所作りを行うことを目的としている。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	居場所事業参加者数	460名	415名	90%

事業の特徴

毎月2回テーマを決め(女性のからだ特有の悩みなど)居場所を開設した。相談員を置き、相談があれば必要な支援に繋がられる体制とした。相談先のチラシを同封した生理用品セットの配布を行った。

連携団体

NPO法人 プラッツ(障害福祉サービス生活介護就労継続支援B型事業で、カフェ運営等を実施している)
 NPO法人 お客様がいらっしゃいました。(大学生が中心となり設立した団体。生理に悩む方への支援や理解促進活動を実施している)
 社会福祉法人盛和福祉会京都大和の家
 精華町(人権啓発課、子育て支援課、健康推進課、高齢福祉課、社会福祉課)
 精華町社会福祉協議会

事業の効果

参加者数は目標値に届かなかったが、毎月の需要はあった。漠然とした孤立孤独を抱えた方を、つながりサポート事業へつなげたり、他課から見守りやサポートが必要な母子として情報をいただいた参加者を本事業内で見守るなど、居場所を提供するだけでなく、支援体制の一部としての役割も果たすことができた。

今後の課題

つながりサポート事業の継続体制に関する課題の解決策として参加者の学生を事業の運営側に取り込んでいくなど、地域人材を巻き込んだ居場所が構築できるような工夫が必要。現在第3木曜日に実施している昼の居場所について参加人数の増加を図るため、開催日等を見直すなどの対応が必要。

精華町つながりサポート事業

様々な課題・困難を抱える女性等に対し、行政だけでは手が届きにくい支援をNPO法人等の団体の知見や能力を活用しながら効果的に進め、必要に応じ関係機関等の相談窓口等につなげ、問題を抱える女性の不安や悩みの解消を図る。また、相談支援につながった女性がエンパワーメントされ、再スタートできるような居場所作りを行うことを目的としている。

実施日・実施場所

○第2木曜日
14:00～16:00
@精華町役場2階COCONI

○第4金曜日
18:00～20:00
@こくらく

開催時間を昼と夜にすることで参加者が生活スタイルに合わせて参加することが可能

令和7年度精華町つながりサポート事業	
日々の不安やちょっとしたストレスをシェアしましょう？家で困ってリフレッシュできる場所です！知らない自分を広げる場所を一緒に楽しみながら探しませんか？	
第2木曜日 14:00-16:00 精華町役場2階COCONI	第4金曜日 18:00-20:00 こくらく
4月10日 新生活	4月25日
5月8日 職場	5月23日
6月12日 プライド	6月27日
7月10日 小物作り	7月25日
8月7日 ここに集り	8月22日
9月11日 SNS	9月26日
10月9日 フットワーク	10月24日
11月13日 家族	11月28日
12月11日 人権	12月26日
1月8日 新たな学び	1月23日
2月12日 健康	2月27日
3月12日 国際女性デー	3月27日

毎月テーマを決めて実施

初めての方でも参加しやすい様に月ごとにテーマを決めたり、親子で参加できるミニ講座を実施。



ミニ相談コーナー

気軽に相談できるミニ相談コーナーを設置。相談内容により適切な支援機関につなげる。

町のイベントを活用した事業周知

せいかまつりで生理の実験と称した性教育を実施。たくさんの親子に参加頂いた。また事業案内チラシを配布した。



	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	居場所事業参加者数	460名	415名	90%